

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				2025年 3月 31日		
LUPE		利用児童数				2025年 3月 18日現在 回収数 4		
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	1	1	対象児が未満児で生活していくのが主なため、取り入れられることが少なかった。 身近にある物を利用できたので、日常に取り入れやすいと感じた。また、すぐにできなくても、後からでも対応できてよかった。子供の姿を共有でき、遊びや生活場面ごとで助言をもらった。 丁寧に説明して頂きました。	集団活動への参加で、未満児さんへの対応を提示することができなかった。未満児さんでも集団活動で取り入れられる内容を提案できるようにしていきたい。 身近な道具や物を使って、アドバイスができたことはよかったので、今後も継続します。		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	1		対象児の動きのにぶい部分等教えて頂けて弱いところに気がつくことができてよかった。 色々なアドバイスやこれまでの経験で椅子を助言頂け質問にも分かりやすく回答して頂いた。運動遊びでの工夫や子供の姿勢等、具体的な支援方法を学んだ。 専門性のある見方で子供に関わって頂き参考になりました	専門的な視点でも施設側の受け入れもあり、支援方法を一緒に考えることができたことは良かった。今後も、施設の意向を大切にアドバイスを行なっていきたいです。		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3	1		保育士・看護師・保健師・訪問支援員による説明会の実施が有効と感じた。 関係機関とのつながりが多数あり、こちらから情報を提供することが多かった。 知識や支援方法を教えて頂き分かりやすかった。その場で、その都度話を頂き終時にはまとめもして頂け勉強になった。 その都度、回答して頂きました。			
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	1	1	対象児がまだ未満児だったこともあり、活動よりも生活面が主で集団での課題よりも個での課題が多かったため。 迷いや困りごとに明快に答えて頂いた。また、答えが見えなく、更に困りや課題も発見できた。工夫を知り工夫したことを次回取り入れることで、一緒に見立てることができた。 課題など教えて頂き、参考になりました。	未満児に対しての支援方法など、発達段階に応じた支援を心がけるとともに、支援のあり方や目的を初回の会議で明確にして、混乱なく行えるようにしたい。		
5	事業所からの支援に満足していますか。	1	3		園の中での支援は、クラス全体が対象児のために時間を使う形式になってしまった。また、他児が訪問支援員さんの周りに集まってしまう年齢的に難しかった。 園と事業所との姿を共有できたことや、保護者を混じえた共有もできることは、心強く感じる。 年間数回でしたので回答できません。	支援への入り方や他の園児への影響も十分に考慮して今後も支援をしていけるようにしたい。		
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応				
<p>保育所等訪問支援の受け入れを始めただけであり、今までなかった支援体制に保育所としてどこまで関わりを持つことができるかが不明確な部分がある。</p> <p>回数と意見交換を繰り返し、その都度対応していく段階にあると考える。</p> <p>保育所等訪問支援は、集団生活、活動が主になる3歳以上児（年少クラス以上）を対象とする園で生かせることが増えるように思う。</p> <p>聞いてもいいの？と思うことも安心して聞くことができた。反対に質問されることで、改めて意識させられることもあり、学ぶことができた。</p>				<p>施設側との思いや意見交換を交えながら、今後も対応していきたい。行える部分と、難しい支援を明確にして具体的に提示できるようにする。また、信頼関係を築いていながら園児や施設側にも負担なく行えるように準備、運営を行います。</p> <p>対象児の年齢に関しては、親御様のNeedと施設側の意見を交えて、総合的に判断し支援できる範囲で関われる形にしていけたらと思います。</p> <p>また、質問しやすい環境や信頼関係に構築に今後も、集中していききたいと思います。</p>				